

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和1年7月26日

釧路市議会議長 松永征明 様

会派名 公明党議員団

代表者名 月田光明



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	月田光明
出張先	札幌市
期間	令和1年7月23日 ~ 令和1年7月24日 (2日間)
用務	駐札幌大韓民国総領事との懇談
調査(研修)結果等の概要	別紙にて報告
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

添付資料 活動及び調整内容要旨及び写真

本年6月28日に設立された釧路市議会日韓友好促進議員連盟の会長として、駐札幌大韓民国総領事館を表敬訪問。

朴賢圭総領事と面会し、議連設立の報告を兼ねて種々懇談した。

総領事からは、「二国間関係が悪化する状況下であっても地方レベル、市民レベルの友好促進は極めて重要であり、議連の設立には大きな意義がある。北海道は、韓国人にとって魅力的な観光地であり、今後も多くのインバウンドが訪れると思う。総領事館として、今後は特に釧路をはじめとする道東の観光情報を本国に発信するとともに、定期便就航を目指して努力していきたい。」等の発言があった。



添付資料 面談相手名刺コピー



駐札幌
大韓民国総領事館

総領事

パク ヒョン キュ
朴 賢 圭

〒060-0002 札幌市中央区北2条西12丁目1-4
Tel 011-218-8013 Fax 011-218-0315
hgpark88@mofa.go.kr
<http://overseas.mofa.go.kr/jp-sapporo-ko/index.do>



駐札幌
大韓民国総領事館

領事

イ ビョン ホ
李 秉 浩

〒060-0002 札幌市中央区北2条西12丁目1-4
<http://overseas.mofa.go.kr/jp-sapporo-ko/index.do>
Tel 011-218-0288 Fax 011-218-8158
bhlee94@mofa.go.kr



駐札幌
大韓民国総領事館

副領事

パク ハ ヨン
朴 河 英

〒060-0002 札幌市中央区北2条西12丁目1-4
<http://overseas.mofa.go.kr/jp-sapporo-ko/index.do>
Tel 81-11-218-8026 Fax 81-11-218-8158
hypark10@mofa.go.kr

釧路と韓国の関係について

2019年5月30日現在

■釧路日韓友好親善協会

- ・設立年：1978年
- ・会長：三ツ輪運輸（株）取締役会長 栗林 定徳
- ・顧問：釧路市長

※釧路市は、他の国際交流団体との整合性をはかり2017年度で退会しており、助成金などの情報提供や広報など、支援・連携の継続を約す

- ・主な活動：韓国語教室、料理教室、留学生とのマッコリ交流会、航空便誘致支援
- ・40周年記念事業（2018年）：
 - (1) 韓国舞踊体験（6月7日公立大学）
 - (2) 韓国伝統舞踊と韓国紹介（6月9日イオン釧路）

■駐札幌韓国総領事館

- ・現総領事：朴 賢圭（パク・ヒョンキュ）
2017年12月27日 着任、駐横浜総領事館副領事や駐日本大使館3等書記官などを歴任
- ・2019年6月4日 釧路日韓友好親善協会総会出席（市長表敬はなし）
- ・2018年6月8日 釧路日韓友好親善協会総会・40周年記念事業参加のため夫妻で来釧し、市長表敬訪問の際に姉妹都市提携が話題となる
- ・2015年1月 当時の鄭 煥星（チョン・ファンソン）総領事が写真集「北海道」出版し、釧路湿原やタンチョウなど道東の自然を多数紹介

■経済（港湾空港振興課）

- ・2019年4月初旬より韓国・釜山港を結ぶ国際定期コンテナ船（海運大手・南星（ナムスン）海運株式会社）が週2便から週3便に増便
- ・2018年の外貿コンテナ取扱量は、前年比12.9%増
- ・今後も外貿コンテナの取扱の増加が見込まれており、ヤードスペースの不足が懸念されていることから、当面の対策として2018年度に約800平方メートルを拡張したが、さらに取扱量が増加する見通しのため、14,500平方メートルの拡張整備を行っている

<外貿コンテナの推移>

平成26年（2014年）	18,720TEU
平成27年（2015年）	20,460TEU
平成28年（2016年）	23,975TEU
平成29年（2017年）	23,653TEU
平成30年（2018年）	26,705TEU

※TEUとは、貨物取扱数を示すために使われる単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUという

■スポーツ（スポーツ課）

<アイスホッケー>

- ・韓国小学生アイスホッケー選抜チームの合宿（2018年2月21日～27日）
リンクや強豪チームなど練習環境の良さから釧路が選ばれる
ソウル市内8つのクラブチーム所属の100人から選ばれた25人が来釧し、地元
のクラブチームと親善試合
- ・江原（カンウォン）大学アイスホッケー部の合宿（2018年8月15日～24日）
29人で初来釧し春採アイスアリーナ、釧路アイスアリーナで合宿を実施
同時期に釧路において合宿中の神奈川大学アイスホッケー部と練習試合を
実施（9対1でカンウォン大学の勝利）

<平昌（ピョンチャン）オリンピック（2018年2月）>

- ・「第23回オリンピック冬季競技大会」に、釧路市に縁のある9名を含む女子
アイスホッケー日本代表スマイルジャパンが出場し過去最高の6位（3日間
のパブリックビューイングに約800名が参加）
- ・スピードスケート女子団体パシュートで釧路市に縁のある選手が出場、金メ
ダル獲得

■観光（観光振興室）

<訪日韓国人宿泊客数（延数）>

平成26年度（2014年度）	2,794人
平成27年度（2015年度）	2,294人
平成28年度（2016年度）	3,336人
平成29年度（2017年度）	4,656人
平成30年度（2018年度）	6,974人（速報値）

<チャーター便運航状況>

【平成26年度】

- ・ジンエアー（平成26年7月23日～8月9日）
釧路ーソウル/仁川(インチョン)線 便数：12便 利用者数：1,461人

【平成29年度】

- ・大韓航空（平成29年7月29日～8月4日）
釧路ーソウル/仁川(インチョン)線 便数：6便 利用者数：534人
釧路空港で約1年半ぶりの国際便
初便歓迎行事：7月29日空港乗降客に記念品、パンフレット配布

【平成30年度】

- ・大韓航空（平成30年7月26日～8月4日、9月22日～25日）
釧路ーソウル/仁川(インチョン)線 便数：8便 利用者数：1,058人

昨年に引き続き、大韓航空が就航

初便歓迎行事：7月26日、9月22日空港乗降客に記念品、パンフレット配布
<プロモーション>

【平成29年度】

- ・大韓航空チャーター便運航継続要請（平成29年10月18日～20日、於韓国）
対象：5社（韓進観光、JNTOソウル事務所、北東北3県・北海道ソウル事務所、日本航空ソウル支店、全日本空輸ソウル支店）
- ・釧路エリアの観光素材取材（日本航空主催）
平成29年12月28日～31日 タレント1名＋撮影クルー
場所：釧路、阿寒湖
- ・北東北3県・北海道ソウル事務所主催商談会への参加及びセールスコールの実施（平成30年1月30日～2月2日、於韓国）
対象：商談会参加者（旅行会社等）及び3社（大韓航空、アジアナ航空、北東北3県・北海道ソウル事務所）

【平成30年度】

- ・大韓航空チャーター便運航継続要請（平成31年2月6日～9日、於韓国）
対象：6社（大韓航空、韓進観光、JNTOソウル事務所、北東北3県・北海道ソウル事務所、日本航空ソウル支店、全日本空輸ソウル支店）
- ・訪日外国人客誘致を進める環境省の事業「国立公園満喫プロジェクト（環境省）の一環で、空港、MOO、阿寒湖畔遊歩道の案内看板は韓国語を含む4カ国語で設置（パンフレットも作成）

■公立大学と牧園（モクウォン）大学の交流 *大田（テジョン）広域市
<交換留学>

・2018年度

学生受入（3名） 2018年4月1日～2018年8月31日
2018年4月1日～2019年2月28日

学生派遣（3名） 2018年3月1日～2019年1月31日

※希望者及び優秀な者が多く、選考の結果、平成30年度は特例で3名派遣

・2019年度

学生受入（2名） 2019年4月1日～2020年2月28日

学生派遣（1名） 2019年3月1日～2019年7月31日

■自然保護分野 (KIWC)

< 釧路国際ウエットランドセンター (KIWC) >

- ・ 釧路市 (COP5第5回1993年) と韓国の昌原(チャンウォン)市 (COP10第8回2008年) は、共にラムサール会議の開催地。COP10準備のため、大韓民国環境省、慶尚南道、釜山市、昌原市の関係者が来釧し、KIWCから情報を収集。また、KIWCは、COP10昌原(チャンウォン)会議に関係者を派遣し、情報発信活動を行った。その後、2009年2月にはポストラムサールのシンポジウム(於昌原市)及び、2015年10月には慶尚南道ラムサール財団主催の国際シンポジウム(於昌原市)に講師として参加し、今日まで交流が続いている。
 - ・ 北東アジア・エコネットワークセンター(所在地:ソウル市 代表Bak Sun young氏) やラムサール・リージョナル東アジアセンター(所在地:順천시 代表Suh, Seung Oh氏) と定期的に交流、共同イベント等を開催。
 - ・ 2015年1月にはEAAFP(東アジアオーストラリア地域フライウェイパートナーシップ)の第8回MOP8会議開催(釧路市)。KIWCでは、EAAFP事務局(所在地:仁川市)と定期的な情報交換を継続。
 - ・ 2016年8月韓国Eco-TV(所在:ソウル市)による釧路湿原、釧路市の紹介番組(環境ドキュメンタリー)撮影(45分番組)にKIWCが全面協力。
- ### < タンチョウ研究者の国際的なネットワーク(事務局は釧路市内) >
- ・ 韓国、ロシア、中国、モンゴルなどタンチョウ研究者が、民間学術交流を進めている。(NPO法人タンチョウ保護研究グループ:百瀬邦和理事長)